

雪氷写真館 ⑩ 2014 年 2 月の大雪による関東甲信地方の雪氷災害 / Snow-related disasters in Kanto-Koshin region due to the heavy snow in February 2014



写真 1 大雪から 3 日経っても続く甲府市内の交通渋滞。(2 月 18 日 佐々木邦明撮影)



写真 2 雪崩で埋まったトンネル抗口を開通中の新潟県派遣ロータリー除雪車。(2 月 23 日 和泉 薫撮影)



写真 3 湿った積雪の荷重により屋根の崩落した青森市内の中学校の屋内運動場。(2 月 21 日 高橋 徹撮影)



写真 4 柱脚の破損により屋根が倒壊した甲府市内の駐車場。(2 月 19 日 上石 勲撮影)



写真 5 角形鋼管でできた柱と基礎が倒壊した小山市飯塚のイチゴ栽培用温室。(4 月 11 日 森山英樹撮影)



写真 6 雪下ろしが進まないまま 1 週間が経過した甲府市古関の民家。(2 月 22 日 松元高峰撮影)



写真 7 甲府市古関の県道 36 号線で車 4 台を埋没させた雪崩の現場。複数回の雪崩が発生して、厚さ約 15m のデブリが道路に堆積した。(2 月 23 日 上石 勲撮影)



写真 8 落石防護ネット設置道路への雪崩の流下。(左) 雪崩の雪がネットをすり抜けた事例(埼玉県横瀬町)。(右) ネットが雪を捕捉し流出を抑えた事例(山梨県道志村)。(2 月 22・23 日 和泉 薫撮影)

## 2014 年 2 月の大雪による関東甲信地方の雪氷災害

2014 年 2 月 14 日から 16 日にかけて本州南岸を通過した低気圧により、関東甲信地方を中心に広範囲で雪が降り続き、山梨県、群馬県、埼玉県などでは最深積雪の極値を大幅に更新するような記録的な大雪となった。この大雪に伴って、多数の道路雪崩・集落雪崩、幹線道路の長期間にわたる大渋滞・立ち往生・通行止め、集落の孤立、農業用温室の倒壊などによる農林業被害、そして各種建築物(住家、体育館等の非住家、車庫・カーポート、アーケードなど)の倒壊といった甚大な被害が各地で発生した。ここでは、日本雪氷学会・日本雪工学会合同の調査チームにより撮影された大雪による被害状況の写真を紹介する。

日本雪氷学会・日本雪工学会合同関東甲信豪雪調査チーム

和泉 薫・松元高峰(新潟大学 災害・復興科学研究所)

上石 勲(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)

佐々木邦明(山梨大学 大学院医学工学総合研究部)

高橋 徹(千葉大学 大学院工学研究科)

森山英樹(農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所)